

神道青年全国協議会 神武天皇二千六百年記念事業「世界平和祈願祭」次第

〈式次第〉

◆日時 平成二十九年二月二十一日 午前九時 齋行

◆齋場 宮崎神宮 大前

◆式次第

当日早旦社殿を裝飾す

時刻宮司以下祭員・神青協役員参進 是より先手水の儀あり

次に宮司以下祭員・神青協役員祓所に著く

次に修祓

次に宮司以下祭員・神青協役員所定の座に著く 此の間大太鼓 奉鼓

次に宮司一拝 諸員之に倣う 此の間大太鼓

次に宮司御扉を開き畢りて側に候す 此の間奏楽 警蹕 諸員磬折

次に権宮司以下祭員神饌を供す 此の間奏楽

次に宮司祝詞を奏す 此の間諸員磬折

次に権宮司 神青協よりの幣帛を奉る

次に神青協代表祭詞を奏す 此の間諸員磬折

次に舞を奏す 悠久の舞

次に宮司玉串を奉りて拝礼 権宮司以下祭員列拝

次に神青協代表玉串を奉りて拝礼 神青協役員列拝

次に参列者玉串を奉りて拝礼

次に権宮司神饌を撤す（閉瓶のみ） 此の間奏楽

次に宮司一拝 諸員之に倣う 此の間大太鼓

次に宮司以下祭員・神青協役員石階下へ退下

次に宮司以下祭員・神青協役員石階下に列立

次に宮司以下祭員・神青協役員・参列者拝所横齋庭にて記念撮影の後退下

◆神饌

和稻（五合）、荒稻（一束）・酒（五合）・餅（二升）・海魚（鯛一尾）・川魚（鯉一尾）

海菜（昆布・若布・寒天）・野菜・菓（生果物）・塩水 以上九台

◆著装 礼装（齋服）

◆祭典奉仕者（計 二十六名）

宮司 宮崎神宮宮司

祭員 宮崎神宮神職 十名（内、四名は神青会員）

神青協役員・特別委員・会員 十七名

典儀 宮崎神宮神職 一名

◆楽人 九名

◆舞人 二名（宮崎神宮巫女）